



青函地域経済活性化フォーラム(第2回)

北海道新幹線開業後の取組について

平成28年5月27日
北海道渡島総合振興局



北海道新幹線開業に係る取組状況について

北海道新幹線開業後の主な取組(H28)

1. 開業後の普及啓発・情報発信

○開業PRの推進

道民の利用促進や機運醸成を図る道内PR、開業1周年記念イベントの開催

○食・観光等の魅力発信

新函館北斗駅での道内各地の飲食物産・観光PRブースの出店(4月29日～11月6日までの土日祝日等)、アイヌ文化・縄文文化や青森県と連携した圏域情報の発信

○道外百貨店等における開業PR

首都圏、北関東、東北の道外百貨店等における物産展に併せたPR

2. 観光振興

○国内誘客プロモーション

新幹線沿線や首都圏、関西圏、中部圏における一般消費者向けPRイベントの開催やメディア等を活用した各種プロモーションの展開

○着地観光素材のPR

東北地方、関東圏、関西圏、中部圏における旅行会社に対する新幹線と併せた道内地方空港活用などの旅行商品の造成・販売を働きかける商談会の開催 等

○観光地域プラットフォームの充実・強化

リピーター獲得や通年型観光に向けたモニターツアー等の開催

3. 二次交通

○交通動態の実態調査

ビッグデータ等を活用した交通動態の実態調査 等

○交通ネットワーク整備に向けた取組

市町、交通事業者に対するヒアリングや、交通ネットワーク整備に向けた意見交換会等の開催

4. 産業振興

○道南の食ブランド力の更なる強化

道南の1次産品展示見本市の開催、道南企業により開発された新商品に関する個別相談会の開催 等

青森県との連携について

1. 「津軽海峡交流圏」北海道・青森県連絡調整会議

○北海道新幹線の開業を契機として、ますます身近になる青森県と道南地域を一つの圏域と捉える「津軽海峡交流圏」の形成を進め、圏域内の交流の活発化や、圏域外からの交流人口の拡大などを図る取り組みを協同で実施。

<北海道新幹線開業に向けた情報発信・気運醸成イベント>

・「津軽海峡交流圏公開生バトルIN函館」（平成27年3月）

五稜郭タワー1階アトリウムで、ゆるキャラ、街の不思議・伝説、ご当地グルメ、ふるさと愛、方言、ご当地体操の6つのテーマで、道南と青森県の魅力自慢対決を実施。

・「どっちの圏民ショー」（木古内町～平成27年10月、青森市～平成27年11月）

青森県と道南チームによるよさこい踊りや、郷土芸能、ふるさと自慢などを実施。

<津軽海峡圏の魅力を満載したパンフレットの作成>

・「ぐるっと津軽海峡！魅力ハッケンBOOK・MAP」

道南地域と青森県の観光、グルメ、祭りなどの情報を掲載。



2. 青函圏交流・連携推進会議

○昭和63年の青函トンネル開通を契機に、青森県と北海道道南地域（渡島・檜山地方）との交流拡大と連携強化を図ることを目的として、青函圏域の産学官が連携し設立した「青函インターブロック交流圏構想推進協議会」を前身とする。

平成23年度より、「青函圏交流・連携推進会議」に名称を改めるとともに、交流の裾野を広げるため、既存の構成団体に加え、交流・連携に取り組む民間の団体などの参加を得て、青函圏の交流・連携を推進する活動を行う。

<構成員>

131団体（北海道61団体、青森県70団体、事務局：北海道・青森県）

<主な活動>

・総会（毎年6月開催）・情報交換会（構成団体等からの情報提供）

・青函圏フォーラム（毎年秋頃開催）

27年度は、平成27年11月10日に若者の活躍する青函圏の地域づくりをテーマとして函館市内で開催。

・構成員の青函圏交流・連携の取り組みに関する調査を実施、HP掲載 (<http://www.jomon.ne.jp/~seikan01/>)



北海道新幹線開業効果について

1. 北海道新幹線開業後の状況

- 開業直後(3/26-4/10)の北海道新幹線の乗客数は約92,200人、1日平均約5,700人。
平均乗車率は27%、在来線の前年実績比約2.2倍。(JR北海道発表)
- 函館市内・近郊の観光関連施設への入場者数の伸び好調。

(1)開業イベント

行事名	主催	開催期間	来場者数	備考
北斗おもてなし祭、ウェルカム北海道ヴィレッジ	北斗市・道	3/26-31	156,000人	6日間
つながるニッポン祭り	函館市	3/26-27	77,800人	2日間
旬感・千年北海道「食と文化フェスティバル」	木古内町	3/26-27	15,500人	2日間
大沼公園北海道新幹線歓迎イベント	七飯町	3/26-27	3,800人	2日間

(2)主要施設(3/26-4/10の利用者数)

施設名	入場者数	対前年比	備考
五稜郭タワー	28,796人	145.60%	
函館山ロープウェイ	94,003人	118.70%	※H28.3.26-27の対前年同期比
道の駅みそぎの郷きこない	30,578人	—	累計 93,950人(オープンH.28.1/13-4/10)
道の駅鹿部間歇泉公園	19,453人	—	累計 31,138人(オープンH.28.3/18-4/10)

2. 今後の状況・課題

- 5月の大型連休以降、道南の観光シーズンを迎え、利用増が見込まれる。

コンベンション関係(函館市内施設の年間利用見込み)
※ 函館国際観光コンベンション協会発表

開催件数	参加者数	対前年比	備考
88件	55,267人	181.8%	前年 73件 30,390人

- 今後の課題
 - ・北海道新幹線開業効果の継続・拡大
 - ・青森県をはじめとする北東北地域との連携による交流人口の拡大